
北大呼吸器内科における 感染症グループの立ち上げと今後の展望

～我々はIVReDにどのように貢献できるか～

公益財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌部
北大内科

鎌田啓佑

解決していない多くの重要な問題(非結核性抗酸菌感染症)

- ・ 治療開始、終了の根拠となる指標が脆弱
- ・ 薬剤感受性試験の有効性が限定的
- ・ 薬剤有害事象出現の予測が困難
- ・ 病態における菌種、菌株間の病原性の差異が不明
- ・ 有効な感染モデルがなく創薬領域も進歩が遅い

臨床研究

基礎研究

マルチオミクス解析を通して
呼吸器感染症の研究に
横断的に関わりたい

新規薬剤効果判定指標
探索

バイオマーカー
探索

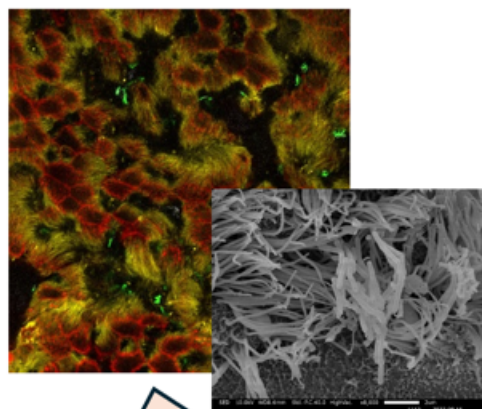
臨床検体

LC/MS/MS分析系構築



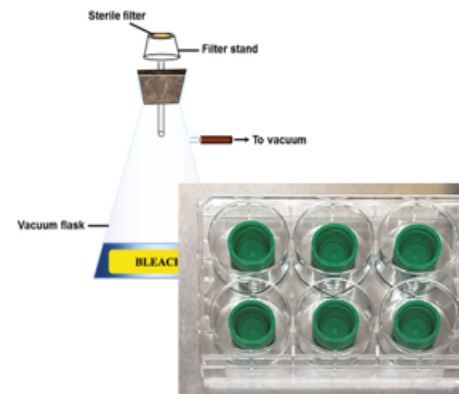
- ・ **1000**成分超を対象とした
ワイドターゲット解析
- 親水性低分子代謝物
- リン脂質
- 脂質メディエーター

気相液相界面培養 気道上皮モデル作成



*in vitro*感染モデルの
構築

抗菌薬曝露時の抗酸菌 代謝物の変化



呼気凝縮液etc